

生徒による授業評価アンケート(後期)の集計結果について

1 実施状況

回答数 9,993件(第1回5,011件, 第2回4,982件)

2 アンケート項目

主体的対話的	① 生徒間で学んだことを振り返ることや知識・意見を交流する等、主体的・対話的な学習場面がある。	共通項目
ガイダンス プレゼン	② 目的、学習方法について具体的な指導がなされている。	
	③ 教材や課題はよく整理され、学習しやすい。	
	④ 指示や説明は分かりやすい。	
	⑤ タブレット端末を利用し、生徒の学びの幅を広げるよう工夫されている。	
コミュニケーション	⑥ 生徒の意見や疑問、また質問に丁寧に対応してくれる。	
授業の効果	⑦ 教科への関心や意欲の高まりや学力や技能の向上を感じる。	
生徒の取組	⑧ 私は、授業の学習活動に主体的に参加している。	
	⑨ 私は、質問したり、調べたり授業理解に努力している。	
	⑩ 私は、タブレット端末を利用し自らの学びの幅を広げることができた。	
江南力	⑪ 私は、この授業を通して「想像力」が身についたと感じる。	
	⑫ 私は、この授業を通して「思考力」が身についたと感じる。	
	⑬ 私は、この授業を通して「発信力」が身についたと感じる。	
	⑭ 私は、この授業を通して「行動力」が身についたと感じる。	
⑮ 私は、この授業を通して「自己肯定力」が身についたと感じる。		
自由設定項目	⑯ ※ 各科目で設定した内容について回答する(4段階評価)	自由設定
自由記述	⑰ ※ 各科目で設定した内容について回答する(200字以内記述)	

4段階評価(4:当てはまる 3:どちらかという当てはまる 2:どちらかという当てはまらない 1:当てはまらない)

3 アンケート結果(「昨年」は昨年前後期の平均)

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
前期	3.58	3.62	3.60	3.61	2.85	3.62	3.50	3.65	3.40	2.85
後期	3.61	3.66	3.64	3.64	2.99	3.66	3.58	3.68	3.51	3.01
平均	3.60	3.64	3.62	3.62	2.92	3.64	3.54	3.67	3.45	2.93
昨年	3.65	3.64	3.62	3.61	-	3.65	3.57	3.66	3.50	-

	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	平均
前期	3.41	3.52	3.33	3.31	3.32	3.42
後期	3.54	3.61	3.47	3.48	3.44	3.50
平均	3.48	3.56	3.40	3.39	3.38	3.46
昨年	3.49	3.57	3.45	3.46	3.41	3.56

4 アンケート結果より

全体の平均値は昨年と比べ3.56→3.46と下がっているものの、新項目⑤⑩を除けばほぼ昨年同様(⑤⑩を除いた平均は3.54)と言える。また、前期と後期の数値変化をみても、全ての項目において数値が上昇している。教員側の授業改善の成果がみられ、生徒の授業の満足感、達成感を前期よりも向上させることができたと考えられる。

新項目⑤⑩について、他項目より評価は低い、タブレット端末の活用は各個人や教科内での研修や実践が進んでいる(⑤前期2.85→後期2.99、⑩前期2.85→後期3.01)ことが想像できる。

生徒側の意識として、「想像力」「思考力」に比べ、「発信力」「行動力」「自己肯定力」の評価が低い傾向にある。授業中に生徒が主体となる取り組み等を通して、生徒自らが行動し発信する機会の確保や、理解できた事の達成感や充実感を実感できるよう授業計画を工夫する必要があると感じる。

先生方には、次年度以降も引き続き授業改善に向けご協力いただきたい。

5 アンケートの活用について

- (1) 生徒による授業評価は学力向上、シラバスの目標達成へ向けた情報の1つである
- (2) 自由記述の声に応えとともに、各項目の数値の意味を分析し、授業改善につなげる
- (3) 前期と後期の2回実施し、変化について比較するとともに、より江南力について意識した授業を実施できるようにする